

様式1 **令和6年度 清瀬市立清瀬小学校 学校評価計画**

<b>学校の教育目標</b>	元氣な子・考える子・協力する子・仲良くする子	<b>育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動</b>	【育成を目指す資質・能力】 ○確かな学力 ○学びへの関心・意欲 ○豊かな心としなやかで強かな心 ○運動習慣と体力 ○特別支援教育への理解 ○地域愛・郷土愛、社会貢献意識
<b>目指す学校像(ビジョン)</b>	【目指す学校像】 ○学び続け、進化し続ける学校 ○振り返りから改善を生み出せる学校 【目指す児童・生徒像】 ○志をもつ子供 【目指す教師像】 ○子供を育てるプロ集団○指導力向上への惜しまない○日常的な危機管理意識 ○業務の効率化○公費及びコストへの意識	<b>【特色ある教育活動】</b>	①コミュニティ・スクールの推進 ②「いのちの学習」の推進 ③学び直しによる学力向上

**前年度までの学校経営上の成果と課題**

【成果】タブレット端末を活用した個別最適な学びの具現化を図ることができた。いのちの学習のカリキュラム（暫定版）を作成できた。交流及び共同学習の充実を図ることができた。  
【課題】児童の自尊感情をさらに高める必要がある。地域・家庭への情報発信をより充実させる必要がある。

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)	
確かな学力の向上	主体的に学ぶ学習態度の育成とタブレット端末を活用した学習の習慣化	学習ツールとしてのタブレット端末の日常的な活用	○タブレット端末活用の必然性を認識できるよう授業で積極的に活用する。 ○児童にSNS清瀬ルールへの理解を徹底させるとともに保護者への啓発活動を行う。	4 毎日の学習でタブレット端末を活用している。	4 「学習ツールとしての認識」「ルールを守る」児童80%以上	
			○週ごとの指導計画に「清瀬小学習指導ガイドブック」活用を位置付ける。	3 タブレット端末の活用が週3～4日程度である。 2 タブレット端末の活用が週2日程度である。 1 タブレット端末の活用が週1日程度である。	3 「学習ツールとしての認識」「ルールを守る」児童70%以上 2 「学習ツールとしての認識」「ルールを守る」児童60%以上 1 「学習ツールとしての認識」「ルールを守る」児童60%未満	
		個別最適な学びと協働的な学びの充実	○週ごとの指導計画に「清瀬小学習指導ガイドブック」活用を位置付ける。	4 週1回ガイドブックを活用して実践している。 3 月2回ガイドブックを活用して実践している。 2 月1回ガイドブックを活用して実践している。 1 ガイドブックを活用している学級が全体の80%未満である。	4 児童の「学習が分かる」肯定的回答80%以上 3 児童の「学習が分かる」肯定的回答70%以上 2 児童の「学習が分かる」肯定的回答60%以上 1 児童の「学習が分かる」肯定的回答60%未満	
			○定期的ないじめ予防策を講じ「いじめ見逃しゼロ」を徹底する。 OSCだよりを通じて家庭へのいじめに関する情報発信を行う。	4 いじめ防止等に関する授業や講話など毎月実施している。 3 いじめ防止等に関する授業や講話など2ヶ月に1回程度実施している。 2 いじめ防止等に関する授業や講話などを学期に1回行っている。 1 いじめ防止等に関する情報発信を年間1回以上行っている。	4 「自分には良いところがある」と回答する児童80%以上 3 「自分には良いところがある」と回答する児童70%以上 2 「自分には良いところがある」と回答する児童60%以上 1 「自分には良いところがある」と回答する児童60%未満	
豊かな心の育成	思いやりの心と強い心の育成	いじめ事案の早期発見・早期解決	○定期的ないじめ予防策を講じ「いじめ見逃しゼロ」を徹底する。 OSCだよりを通じて家庭へのいじめに関する情報発信を行う。	4 いじめ防止等に関する授業や講話など毎月実施している。 3 いじめ防止等に関する授業や講話など2ヶ月に1回程度実施している。 2 いじめ防止等に関する授業や講話などを3ヶ月に1回程度実施している。 1 いじめ防止等に関する授業や講話などの実施は学期に1回程度である。	4 全ての事案を解決(いじめ解消は解決後3か月間で判断) 3 解決まで3か月以上を要した事案3件未満 2 解決まで3か月以上を要した事案5件未満 1 解決まで3か月以上を要した事案5件以上	
		運動時間の確保	○体育授業では集合2回を原則とし、話合いの時間短縮(ワークシート等の工夫)や指示の精選を行う。	4 全ての学級で20分以上運動時間を確保している。 3 90%以上の学級で20分以上運動時間を確保している。 2 80%以上の学級で20分以上運動時間を確保している。 1 運動時間の確保20分以上の学級が80%未満である。	4 「よく運動している」と回答する児童90%以上 3 「よく運動している」と回答する児童80%以上 2 「よく運動している」と回答する児童70%以上 1 「よく運動している」と回答する児童70%未満	
	運動の日常化と運動意欲の向上	運動好きな児童の増加	○体育授業における「めあて」と「振り返り」を行い、何を学んだか明確にさせる。	4 90%以上の体育授業でめあて設定と振り返りを実施している。 3 80%以上の体育授業でめあて設定と振り返りを実施している。 2 70%以上の体育授業でめあて設定と振り返りを実施している。 1 体育授業でめあて設定と振り返りの実施が70%未満である。	4 「運動することが好き」と回答する児童90%以上 3 「運動することが好き」と回答する児童80%以上 2 「運動することが好き」と回答する児童70%以上 1 「運動することが好き」と回答する児童70%未満	
		特別支援教育の視点から構築した個別最適な学びの充実	○授業観察シートを活用して、分かる授業を展開する。(分かりやすい板書、発問の精選、個に応じた学習方法)	4 90%以上の授業で「分かる授業」を意図的に行っている。 3 80%以上の授業で「分かる授業」を意図的に行っている。 2 70%以上の授業で「分かる授業」を意図的に行っている。 1 「分かる授業」を意図的に行ったのは70%未満である。	4 児童の「学習が分かる」肯定的回答80%以上 3 児童の「学習が分かる」肯定的回答70%以上 2 児童の「学習が分かる」肯定的回答60%以上 1 児童の「学習が分かる」肯定的回答60%未満	
特別支援教育の充実	個別最適な学びの具現化と特別支援教育の理解促進	交流および共同学習の積極的な実施と情報発信	○月1回以上の取組と情報発信を行う。	4 毎月の実施率100%(またはそれ以上)である。 3 毎月の実施率90%以上である。 2 毎月の実施率80%以上である。 1 毎月の実施率80%未満である。	4 「交流および共同学習の実施」に対する保護者の満足度80%以上 3 「交流および共同学習の実施」に対する保護者の満足度70%以上 2 「交流および共同学習の実施」に対する保護者の満足度60%以上 1 「交流および共同学習の実施」に対する保護者の満足度60%未満	
		地域資源を活用した取組の積極的な実施	○年間指導計画に則って、地域人材や地域資源を活用した学習を月1回以上実施する。	4 毎月取り組む学習を実施している。 3 学期に2回程度取り組む学習を実施している。 2 学期に1回程度取り組む学習を実施している。 1 取り組む学習が学期に1回未満である。	4 「この地域(清瀬)が好きである」と回答する児童90%以上 3 「この地域(清瀬)が好きである」と回答する児童80%以上 2 「この地域(清瀬)が好きである」と回答する児童70%以上 1 「この地域(清瀬)が好きである」と回答する児童70%未満	
	本校の特色	地域愛・郷土愛の醸成と社会貢献意識の醸成	地域に働きかける活動の積極的な実施	○年間指導計画に則って、地域に働きかける取組を全学年で実施する。	4 地域に働きかける取組を全学級が実施している。 3 地域に働きかける取組を90%以上の学級が実施している。 2 地域に働きかける取組を80%以上の学級が実施している。 1 地域に働きかける取組を実施した学級が80%未満である。	4 「この地域(清瀬)のために何かしたい」と回答する児童90%以上 3 「この地域(清瀬)のために何かしたい」と回答する児童80%以上 2 「この地域(清瀬)のために何かしたい」と回答する児童70%以上 1 「この地域(清瀬)のために何かしたい」と回答する児童70%未満